募集　平成２７年度つなぎ児童クラブ入会児童募集！

■問い合わせ　住民課福祉班　TEL78－3113（内116）

■対象児童
町内の小学校に4月から就学予定の児童及び小学校に就学している児童のうち仕事などの理由で放課後や土曜日、長期休暇期間に児童の養育ができない家庭の児童。
※ 平成27年4月から児童クラブ利用対象が6年生まで引き上げられます。（現在は3年生まで）

■実施場所
つなぎ児童クラブ風ん子（教育委員会横）

■実施時間
○月～金曜日（学校登校日）
　下校後～午後6時
○土曜日、春・夏・冬休み（学校休校日・長期休暇期間）
　午前8時～午後6時

■実施内容
児童の自主性を尊重し、適切な遊びと生活の場を提供し育成指導を行います。

■募集期間
1月13日（火）～1月30日（金）

■申込用紙設置・提出先
住民課福祉班または
つなぎ児童クラブ風ん子

再利用　インクカートリッジ回収します

■問い合わせ　住民課住民班　TEL78－3113（内115）

本町ではごみを少しでも減らし、限りある資源の有効活用を推進するため、使用済みのインクカートリッジの回収から再資源化までのリサイクル活動「インクカートリッジ里帰りプロジェクト」に参加しています。どなたでもお気軽にご利用ください。

■対象カートリッジ
▽ブラザー株式会社、▽キャノン株式会社、▽デル株式会社、▽セイコーエプソン株式会社、▽日本ヒューレット・パッカード株式会社、▽レックスマークインターナショナル株式会社（里帰りプロジェクト参加企業）の純正カートリッジ

■回収場所
役場1階ロビー
つなぎ文化センターロビー

■注意事項
・著しい破損品、改造品はリサイクルの障害となりますので入れないでください
・カートリッジ以外のもの（袋や箱）は入れないでください

年金情報

国民年金に関する情報をご紹介します。

20歳になったら国民年金加入届出を

自営業、アルバイト、農林漁業、無職、学生等の方で、20歳以上60歳未満の人は国民年金に加入しなければなりません。日本年金機構から「国民年金加入手続きについて」の通知が届きましたら、役場窓口で手続きを行ってください。加入手続きが遅れると、国民年金保険料の納付書の送付も遅れ、納期限までお手元に届かずに「納め忘れ」が発生します。20歳の誕生日月には、お早めに加入手続きをお願いします。

なお、所得が低く、国民年金保険料の納付が困難な場合は保険料免除制度（全額免除・4分の3免除・半額免除・4分の1免除）、若年者納付猶予制度、学生である場合は学生納付特例制度がありますので窓口にてご相談ください。

■年金に関する問い合わせ
住民課住民班
TEL78－3113（内115）
八代年金事務所
TEL0965－35－6143

出張年金相談所

年金事務所の職員が相談をお受けします。
【相談日】

会場	水俣市もやい館	芦北町役場
1月	8日、22日（木）	9日（金）
2月	12日、26日（木）	13日（金）
連絡先：0965-35-6123　※要予約		

統計調査　２０１５年農林業センサスご協力のお願い！！

■問い合わせ　総務課企画財政班　TEL78－3111（内219）

平成27年2月1日現在で2015年農林業センサス農林業経営体調査を実施します。

農林業センサスとは一？

日本の農林業農山村の実態を明らかにすることを目的に5年ごとに実施している農林業に関する最も基本的な統計調査であり、『農林業の未来を導く』重要な統計調査です。

対象者には1月中旬頃から下旬にかけて調査員が家まで訪問しますので、皆さまのご協力をよろしくお願いします。

火災予防　火災に気をつけましょう！　火事・救急は１１９！！

■問い合わせ　水俣芦北広域行政組合消防本部　TEL63－1191

空気が乾燥し火災が発生しやすい季節になりました。管内では過去５年間に年間平均約21件の火災が発生し、そのうち約8件は建物火災です。原因としては、コンロ、たばこの不始末、ストーブ等の暖房器具からの出火が大半を占めています。また、平成26年1月1日～12月5日まで16件の火災が発生し、うち7件の建物火災が発生しています。火の取り扱いには十分に注意し、火災を出さないようにしましょう。

電気器具からの火災に気をつけましょう！
・たこ足配線は電気火災の原因となります。容量を守って正しく使う。
・元配線には、新しいコードかつ容量の大きいものを使う。
・差し込みプラグは埃を取り除き、しっかりと差し込む。
・コードは束ねたまま使わない。
・コードに重いものが乗っていないか確認する。

調理中の火災に気をつけましょう！
・コンロから離れるときは必ず火を消す。
・コンロの周りに燃えやすいものを置かない。

暖房器具の周りに燃えやすいものを置かないようにしましょう！
・ファンヒーター、電気ストーブ、石油ストーブの上や近くで洗濯物など干さない。
・部屋を離れるとき、寝るときは暖房器具のスイッチを切る。
・布団等の近くに暖房器具は置かない。
※ 給油するときは、必ず火を消す。

赤崎水曜日郵便局コーナー

～ポストマンからのメッセージ～

東京都江東区の豊洲に来ています。築地市場の豊洲移転や東京オリンピック・パラリンピックの開催などを控え、今注目されている土地です。幅広の歩道を進むと、高層マンション、オフィス街、ショッピングモールなど空を覆うように聳える巨大な最新建築物をついつい見上げてしまう。また、開発中の高速道路や建設現場も多く、首都圏で将来性ナンバー1と評されることもあるそうだ。

背広を着たビジネスマンはもちろんだが、意外なことにランドセルを背負った小学生やベビーカーを押す若いお母さんの姿によく出会い、オフィス街の緑の広場はそのまま住人の憩いの場になっているといった様子で、オフィスと暮らしが入り組んだような今まで出会ったことのない町の姿をしている。もともと豊洲は関東大震災の瓦礫処理などで1920年代に進められた埋立地。石川島播磨重工業（現IHI）が1939年にここで造船所の操業を開始。60年にわたってタンカーをはじめ約700隻の船を建造し、2002年に造船所を閉鎖した。その広大な造船所跡地が都心に近いという魅力もあり、再開発されたのである。そしてまた、隅田川の河口に位置することもあり、入り組んだ運河に囲まれたウォーターフロントといった特徴もある。運河沿いを歩くと近くて遠い対岸が見えた。むこうにもこっちを見ている人がいた。かつては海だった場所を瓦礫で埋め、水路ができ、船をつくり、再開発され、高層マンションとオフィスビルと商業施設が建ち、こんどは巨大な市場と世界的イベントがやってくる。全ては海の上の出来事とも言えるのだが、そこに人が集うと新しいコミュニケーションが生まれるものである。

そう考えると、この運河は対岸との関係性を隔てているのではなく、むしろコミュニティをつないでいく可能性があるのではないかと感じた水曜日。

この海も赤崎水曜日郵便局につながっている。

（写真・文：五十嵐靖晃）

ポストマン　五十嵐 靖晃（やすあき）さん

撮影：森　賢一

2013.6.19 開局

手紙累計数 2,553通 ※12月15日現在